

1962年

周恩来総理が松村謙三氏と会談、高碕達之助・廖承志両氏の間で日中総合貿易に関する覚書調印。「L・T貿易」が始まった。ケネディ米大統領が「中国封じ込め政策」



陳毅副総理(左)と中島健蔵理事長(右)は、文化交流のありかたについて深く話しあった
——一九六二年十月 北京

への協力を日本政府へ要請。キューバ危機。前年の十月に結ばれた「両国民間の文化交流に関する共同声明」に基づき、初めて中国の映画、演劇の代表団を招請した。

◎2月 「中国現代版画展」(主催・当



「ある民族を知るのに映画は大切な方法である」と岩崎昶氏は言っている。この年、初めての中国映画代表団を招請した。日本の映画人との交流はもとより、大映、東宝、松竹、東映、日活など各社の首脳と会見、日中映画交流史に転機をもたらした。(右から)司徒慧敏団長、凌子風、中島健蔵理事長、趙丹、黄世明、袁文殊副団長の諸氏

——一九六二年五月十一日 箱根

協会、毎日新聞社など)、日本橋高島屋で開催。日中交換書道展「現代中国書道展」(主催・当協会、日本書道文化連合会、毎日新聞社)、東京都美術館で開催。日本労音代表団(山根銀二団長、菅原志有次、白土吾夫、清瀬保二、平井澄子らの諸氏)訪中、中国人民対外文化協会の招請。

◎3月 「中国写真展」(主催・当協会、日本写真家協会) 日本各地で開催。

◎4月 中国映画代表団(団長・司徒慧敏、副団長・袁文殊、団員・秦怡、趙丹、凌子風、薛廷芳、李沢奎、陳兆初、黄世明の諸氏) 来日。

◎5月 日本書道代表団(山田正平団長、香山峯雲、殿村藍田、今井凌雪らの諸氏) 訪中、「日本書道展」開幕式に出席。中国人民対外文化協会の招請。

◎6月 日本卓球選手団(柴田百門団長、森武監督ら十一名) 訪中。「中国労働者農民画展」(主催・当協会など) 東京都美術館で開催。

◎7月 第八回原水爆禁止世界大会参加中国代表団(巴金団長、康永和、趙安博、朱子奇、楊朔、李儲文、施如璋、孫平化、林麗韋らの諸氏) 来日、当協会などが協力して一行を接待。

◎9月 中島健蔵理事長、白土吾夫事務局長訪中。中国人民対外文化協会との間で「日中両国

人民間の文化交流に関する共同声明」に調印、中国側署名者は楚圖南会長。毛沢東主席、周恩来総理と会見。

◎10月 「中国国慶節祝賀・日中国交回復実現中央集会」(全電通会館)で亀井勝一郎、香山峯雲、山本安英の諸氏が講演。中国演劇家代表団(団長・朱光、団員・陳白塵、焦菊隱、張瑞芳、崔泰山の諸氏) 来日。中国卓球選手団(栄高棠団長) 十三名来日。中国映画祭を大阪と東京で開催。

◎12月 中国美術史研究日本学術代表団(米沢嘉圃団長、宮川寅雄、白土吾夫、藤田経世、長広敏雄、吉沢忠の諸氏) 訪中。

「広島への最初の旅は一九六六年の夏『愛と死の記録』の撮影のためでした。……私は広島の重い歴史をはじめて知りました。」「いつしか私の心の中で、核兵器が二度と使用されないようにと祈る気持ちが生れました。」

朗読「第二楽章」によせて、吉永小百合は右のように書いている。吉永小百合の一九六二年は、映画「キューポラのある街」、レコード「寒い朝」「いつでも夢を」など。日活のトップ女優として、石原裕次郎とともに中国映画人を歓迎したのもこの年。吉永小百合は後に、日本映画人代表団(木下恵介団長・七七年)、日中文化交流協会代表団(井上靖団長・八四年)など、しばしば訪中している。



第8回原水爆禁止世界大会で「中国人民は発言する」と題し演説する巴金団長

——1962年8月1日 東京



同じ北京にいても、これだけのメンバーが勢揃いするのは珍しい。中国作家協会に集い建国十三年を祝う(手前一行目右から)謝冰心、有吉佐和子、周揚、中島健蔵理事長、阿英、(二列目右から)関曾瑜、西園寺公一、陳白塵、趙樹理、張光年、(第三列目右から)李季、夏衍、何其芳、巖文井、(第四列目右から)袁水拍、郭芳為、周立波、劉德有、林元の諸氏

——1962年10月



長い念願が実り、朱光氏を団長とする中国演劇家代表団が来日 お別れパーティーにて、(左から)張瑞芳、千田是也、岸輝子、滝沢修、朱光、木下順二、山本安英、焦菊隱、陳白塵、杉村春子の諸氏

——1962年11月17日 東京



日活撮影所では、石原裕次郎(左二)、吉永小百合(右二)両氏と歓談し、「草を刈る娘」などを鑑賞した中国映画代表団の司徒慧敏団長(左一)、秦怡氏(右一)

——1962年4月25日 東京



劇団民藝主催の中国映画代表団歓迎会 即興で日中友好の踊りを楽しむ司徒慧敏団長(左)と宇野重吉氏

——1962年5月13日 東京



中国美術史研究日本学術代表団が訪中 一行の訪中は、その後の日中古代史、美術史研究者の相互交流に大きな影響を及ぼした。南京博物院で、米沢嘉圃団長、宮川寅雄、吉沢忠、藤田経世、長広敏雄の諸氏

——1963年1月7日